

2010 年度わが国貿易収支、経常収支の見通し

2009 年 12 月 4 日(金)
社団法人 日本貿易会

要 旨

1. 商品別貿易の見通し(通関ベース)

● 2009年度 ~ 過去最悪の下落幅ながら輸出入とも下半期に持ち直し

輸出総額は、前年度比 19.9%減の 57 兆 0,170 億円。1970 年度以降では過去最悪の下落幅。輸出数量は、同 14.3%減と 2 年連続 2 けた減少するが、中国などアジア向けを中心に化学製品、電気機器、輸送用機器などは下半期回復。輸出価格は、円高を主因に同 6.5%下落。

輸入総額は、前年度比 26.8%減の 52 兆 6,430 億円。1970 年度以降では過去 2 番目(1986 年度同 30.6%減が過去最悪)の下落幅。国内需要減退で輸入数量が同 14.1%減となったほか、原油・鉱物資源・穀物など一次産品価格の大幅下落に円高の影響も加わって、輸入価格も同 14.8%下落。

● 2010年度 ~ 輸出は数量増、輸入は価格上昇を背景に 3 年ぶり増加

輸出総額は、61 兆 4,770 億円で前年度比 7.8%増。輸出数量は、同 6.1%増で 2009 年度下半期からの回復が継続。世界経済回復を背景に船舶を除くすべての品目が増加。輸出価格も同 1.7%上昇。

輸入総額は、56 兆 6,070 億円で前年度比 7.5%増。輸入価格は、原油・鉱物資源などの価格上昇から同 6.7%上昇。輸入数量は、3 年ぶりの増加に転じるが、国内需要の回復力乏しく同 0.8%増にとどまる。

2. 経常収支の見通し

● 2009年度 ~ 原油安、輸出底入れから経常収支黒字は 2 年ぶり拡大

経常収支黒字は、貿易・サービス収支の黒字化から 15 兆 2,560 億円と 2 年ぶりに黒字を拡大。

貿易収支黒字は、原油安による輸入の大幅減を主因に前年度比 4 兆 3,590 億円増の 5 兆 5,180 億円と急増。サービス収支赤字は 2 兆 0,540 億円で、輸送収支、旅行収支とも大きな変動はなくほぼ横ばいとどまる。この結果、貿易・サービス収支は 3 兆 4,640 億円で 2 年ぶりに黒字化。一方、所得収支黒字は 2 年連続減少し、海外金利の低下と円高により同 1 兆 5,440 億円減の 13 兆 0,100 億円。

● 2010年度 ~ 経常収支黒字は輸出回復を背景に 2 年連続拡大

経常収支黒字は 16 兆 5,730 億円で、前年度比 1 兆 3,170 億円の増加。輸出入とも 3 年ぶりの増加に転じるが、輸出の伸びが輸入を上回り、貿易収支黒字が 6 兆 0,930 億円と拡大が継続。一方、サービス収支赤字は 2 兆 0,910 億円で、原油安一服などから旅行収支・運輸収支とも赤字が若干拡大。この結果、貿易・サービス収支黒字は、4 兆 0,020 億円で同 5,380 億円の拡大にとどまる。所得収支黒字は 13 兆 7,820 億円で、海外金利の上昇などに伴う円ベース受け取り金額の増加から同 7,720 億円の黒字拡大。

お問い合わせ :

社団法人日本貿易会 調査グループ

〒105-6106 港区浜松町 2-4-1 世界貿易センタービル 6F

Tel: 03(3435)5950 Fax: 03(3435)5979 e-mail: iar@jftc.or.jp

<http://www.jftc.or.jp> …HPより全文ご入手いただけます。

． 総 括 表

【 通 関 貿 易 】

項 目	2008年度 実績		2009年度 見込み		2010年度 見通し	
	(10億円)	対前年度比増減 (伸び率)	(10億円)	対前年度比増減 (伸び率)	(10億円)	対前年度比増減 (伸び率)
通関貿易収支	727	-10,882	4,374	+5,101	4,871	+496
輸 出	71,145	(-16.4%)	57,017	(-19.9%)	61,477	(7.8%)
数量要因		-14.3%		-14.3%		6.1%
価格要因		-3.4%		-6.5%		1.7%
輸 入	71,872	(-4.1%)	52,643	(-26.8%)	56,607	(7.5%)
数量要因		-5.7%		-14.1%		0.8%
価格要因		0.5%		-14.8%		6.7%

【 経 常 収 支 】

項 目	2008年度 実績		2009年度 見込み		2010年度 見通し	
	(10億円)	対前年度比増減 (伸び率)	(10億円)	対前年度比増減 (伸び率)	(10億円)	対前年度比増減 (伸び率)
貿易・サービス収支	888	-9,978	3,464	+4,352	4,002	+538
貿易収支	1,159	-10,527	5,518	+4,359	6,093	+575
輸 出	67,712	(-16.3%)	54,266	(-19.9%)	58,511	(7.8%)
輸 入	66,553	(-3.9%)	48,747	(-26.8%)	52,418	(7.5%)
サービス収支	2,047	+549	2,054	-7	2,091	-36
所得収支	14,553	-2,201	13,010	-1,544	13,782	+772
経常移転収支	1,329	-29	1,218	+111	1,212	+7
経常収支	12,336	-12,208	15,256	+2,919	16,573	+1,317

(注)金額は億円単位を四捨五入

商品別貿易の見通し(通関ベース)

1. 輸 出

2009年度

世界経済が各国協調した政策総動員の効果から上半期に最悪期を脱し、円高懸念がくすぶるものの日本の輸出環境は徐々に好転している。輸出金額は前年度比 19.9%減で 1970 年度以降では過去最悪の下落幅が見込まれるが、下半期には持ち直しに転じる見通し。輸出数量は同 14.3%減と 2 年連続の 2 けた減が見込まれるが、中国を中心としたアジア向けを先導役に年央以降持ち直しに転じている。輸出価格は同 6.5%減で、円高の進行により 08 年度(同 3.4%減)よりさらに下落する。

商品別では、中国の家電・自動車向けに化学製品がいち早く立ち直り、次いで中国を含むアジア向けに半導体等電子部品、自動車の部分品が回復に転じている。自動車は各国の購入支援策の効果から夏場以降回復が鮮明化。高水準の受注残を抱える船舶は、年度を通して唯一増加する。一方、設備投資先送り・凍結の影響から一般機械、鉄鋼の回復が遅れる見込み。

2010年度

新興国を中心に世界経済が緩やかな回復を続ける中、輸出数量の増加を背景に輸出金額は前年度比 7.8%増と 3 年ぶりに増加する。

商品別では、船舶を除くすべての品目が増加に転じる。引き続き中国を中心としたアジア向けに化学製品・半導体等電子部品・自動車の部分品などが増勢を維持する。自動車は購入支援策終了で先進国向けが冴えないものの、新興国向けは堅調。鉄鋼はアジア向けの自動車・家電用鋼板を中心に増加。一般機械は IT 投資関連の電算機類は増加に転じるが、産業機械は引き続き低調な見通し。

2. 輸 入

2009年度

国内景気は輸出主導で回復に向けた動きを見せているが、内需は引き続き低調で輸入の回復が遅れている。円高、原油安の進行で輸入価格は大幅に下落し、輸入金額は前年度比 26.8%減となり、プラザ合意直後の 1986 年度(同 30.6%減)以来、過去 2 番目の大幅な落ち込みが見込まれる。

商品別に見ると、原油及び粗油・石油製品・非鉄金属鉱は市況反転、半導体等電子部品は薄型テレビの販売好調などによっておのおの下半期増加するが、年度を通しては大幅に減少。一方、設備投資減少から原料別製品の鉄鋼・非鉄金属・電算機類などの一般機械は冴えず、食料品も消費低迷で回復が遅れる。

2010年度

輸入金額は前年度比 7.5%増と 3 年ぶりに増加に転じるが、国内需要の回復力が限られる中で数量の伸び悩みが続き、原油安一服などによる価格上昇に依存した増加にとどまる見込み。

商品別では、単価下落などを背景に電算機類を中心とした一般機械が引き続き減少するものの、他の品目はすべて増加に転じる。特に、鉄鉱石などの原料品や鉄鋼・アルミなどの原料別製品は市況回復や国内生産持ち直しによって前年度比 20%超の増加が見込まれる。輸送用機器も航空機の代替需要を中心に同 10%強程度まで回復するが自動車は伸び悩み。また、鉱物性燃料は、原油安一服などで増加に転じるが数量面での回復力は乏しい。食料品も増加に転じるが、魚介類・肉類とも消費低迷の影響を受けて増勢が鈍い。

経常収支の見通し

2009年度

輸出入金額とも大幅な減少が継続するが、原油安などで輸入減少幅の方が大きく、貿易収支黒字は5兆5,180億円と前年度比で大幅に拡大。サービス収支赤字は、輸送収支、旅行収支とも大きな変動はなくほぼ横ばいとどまる。所得収支黒字は、海外金利の低下と円高による円ベース受け取り金額の減少により2年連続縮小。この結果、経常収支黒字は15兆2,560億円となり、2年ぶりに黒字を拡大させる。

2010年度

世界経済の回復や原油安一服などを背景に輸出入金額とも3年ぶりの増加に転じ、貿易収支黒字も6兆0,930億円と2年連続で黒字が拡大する。サービス収支赤字は、原油安一服などの影響で旅行収支・運輸収支とも赤字が若干拡大。所得収支は、海外金利の上昇などにより黒字幅が3年ぶりに拡大。この結果、経常収支黒字は16兆5,730億円と2年連続拡大するが、09年度に比べ増勢は鈍い。

前提条件

項目	2008年度 実績	2009年度 見込み	2010年度 見通し
世界貿易 (暦年)	2.7 %	12.1 %	2.7 %
世界経済 (暦年・実質)	3.0 %	1.1 %	2.9 %
米 国	0.4 %	2.7 %	1.6 %
ユ ー ロ 圏	0.7 %	4.1 %	0.3 %
ア ジ ア	6.7 %	4.9 %	6.8 %
日本経済 (年度・実質)	3.2 %	3.2 %	1.0 %

(注1) アジアはIMF定義による「アジア途上国(26)」+「NIES(4)」の計30ヵ国ベース。

(注2) 上記の前提条件に加え、10月中旬の外国為替市場および原油市場の動向を参考に、円相場は2009年度93円/ドル、2010年度93円/ドル、原油入着価格は2009年度70ドル/バレル、2010年度75ドル/バレルとの前提条件において積み上げ作業を実施。

以上